

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

(仮称)国泰寺二丁目マンション

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目	評価点	重み係数	内 訳			
<b>■ 1. 「地球温暖化対策」の推進</b>						
<b>1.1 建物の熱負荷抑制</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 断熱材は隙間なく施工、住居部のサッシは複層ガラス	3.0	0.09	Q1	室内環境	2	温熱環境
	3.0	0.35			2.1	室温制御
	3.0	0.56	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制
小計	3.0	0.33				
<b>1.2 自然エネルギーの利用</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用
					2.1	自然エネルギーの直接利用
					2.2	自然エネルギーの変換利用
小計	3.0	0.09				
<b>1.3 設備システムの高効率化</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 高効率の機器を採用	4.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化
小計	4.0	0.19				
<b>1.4 設備システムの効率的運用</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.03	LR1	エネルギー	4	効率的運用
	3.0	0.03	LR1	エネルギー	4	効率的運用
					4.1	モニタリング
					4.2	運用管理体制
小計	0.0	0.00				
<b>1.5 資源・マテリアル対策</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 節水型水栓、節水型便器を採用	4.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	3.0	0.12	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	3.0	0.03	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	2.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	1.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	2.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
小計	2.7	0.27				
<b>1.6 ライフサイクルCO2排出率</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 可能な限りCO2の排出を削減する。	3.3	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮
小計	3.3	0.12				
<b>1. 「地球温暖化対策」の推進の評価</b>						
	3.1	0.71				
<b>■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進</b>						
<b>2.1 温熱環境の向上</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 庇・庇ロティーにより日陰を形成している。	1.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出
	2.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮
	2.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
					2.2	温熱環境悪化の改善
小計	1.5	0.97				
<b>2.2 交通負荷抑制</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地内に駐輪・駐車スペースを確保している。	3.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
					2.3	地域インフラへの負荷抑制
					3	交通負荷抑制
小計	3.0	0.03				
<b>2. 「ヒートアイランド対策」の推進の評価</b>						
	1.6	0.16				
<b>■ 3. 「長寿命化対策」の推進</b>						
<b>3.1 耐用性の向上</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 外壁をタイル貼りとしている。 給水管・排水管はBを使用している。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	2.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
小計	3.3	0.47				
<b>3.2 設備の更新性</b>						
(コメント) ※設計の計画段階に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
小計	3.0	0.53				
<b>3. 「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)</b>						
	3.1	0.13				
<b>■ 重点項目の総平均(上記3項目)</b>						
	2.9					